令和６年度 地域の元気づくり（シルバー基金助成事業）事業報告書

高梁市老人クラブ連合会

<table>
<tr><td>①地域の概況</td><td>　地域の高齢化率は４７パーセントを超えており、人口減少と同時に高齢化率に拍車がかかっている。高梁市は地域の活性化を目指した工場の誘致や、学校の統合で新しいタイプの義務教育学校が開校することになっている。
　地域の人口は２，０００人を下回り、合併以降２割以上減少し値域コミュニティの運営が懸念されている。</td></tr>
<tr><td>②活動状況</td><td>有漢地域全体で計画し実施した。具体的に2支部の活動を報告する。

＜第２白寿会＞
令和６年１０月１２日　　ふれあいセンター　１２人参加　配食２４人
稲荷寿司、サラダ
令和６年１２月１４日　　ふれあいセンター　１２人参加　配食２４人
赤飯、豚汁、サラダ

＜第８白寿会＞
令和６年７月１３日　　農業構造改善センター　８人参加　配食２６人
うどん、けんびき焼き
令和６年１０月４日　　農業構造改善センター　８人参加　配食２６人
おはぎ、きのこご飯
令和６年１２月２１日　　農業構造改善センター　８名参加　配色２６人
寿司、ケーキ

各支部で趣向を凝らし季節に合った献立で会食、会員や一人暮らし老人などを訪問交流した。</td></tr>
<tr><td>③活動の効果</td><td>コロナ禍が落ち着き以前のように活動が出来るようになったが、一度活動を休んだことで再開に促しすべての支部で取り組むことができた。
設備やマンパワーが今までのように生かされてスムーズにできた。</td></tr>
<tr><td>④課題・問題点</td><td>　老人クラブの自主活動の助成であるために、各単位クラブの負担とならない範囲で活動を促した。そのために内容に濃淡があった。各単位クラブでは、地域性や組織の行動力に応じた事業に取り組み、それなりに成果があった。
　地域の高齢化とともに人口減少で会員が減少し活動範囲や規模が縮小する傾向にある中で、今年度は有漢地域のすべてのクラブで取り組むことができた。
役員を中心に取り組んでいるが多数の会員が参加できるように工夫する必要がある。</td></tr>
<tr><td>⑤今後の進め方</td><td>　今年度は有漢地域のすべての単位クラブでこの事業に取り組むことができ、会員の活動が活発になった。会員の増加にはつながらなかったが次年度以降の会員の増加を目指す。</td></tr>
</table>

第2白寿会

R6年10月12日　きつね寿司、サラダ

R6.12月14日　赤飯、豚汁、サラダ

第８白寿会